

## ご協力、ありがとうございました。

山々の木々も美しく色づき始めたと聞きます。日頃より、砂川小学校教育活動推進にご理解・ご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

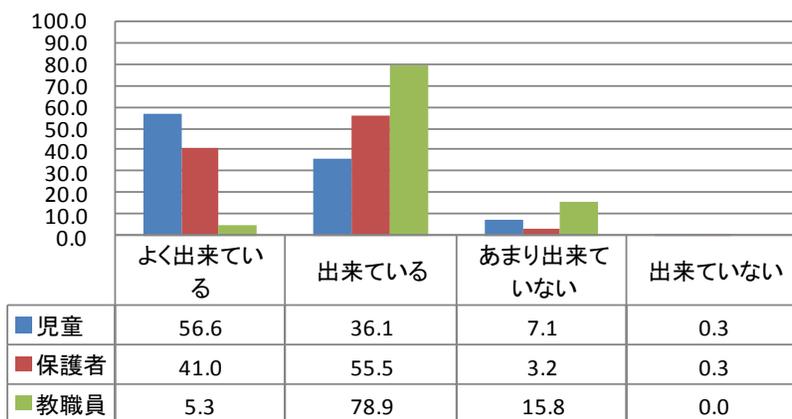
早速ですが、今年度前期に行いました「学校評価アンケート」についてお知らせいたします。今年度も学校教育目標を「すなおで、なかよし、がんばる、われら！」と掲げ、目指す子ども像を『「時」を大切にし、今は何をするときか よく考える子』『「絆」を大切にし、ともに伸びようと 努力する子』『「命」を大切にし、心と体を鍛える子』とし、それに迫るべく取組を積み重ねてきました。

アンケートの結果を「目指す教職員像」「目指す子ども像」「目指す学校像」に照らし合わせ、教職員で検討・分析し、学校運営協議会で協議しました。

今回の結果をしっかりと受け止め、後期において学校改善に努めていきたいと考えています。今後とも、保護者・地域の皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

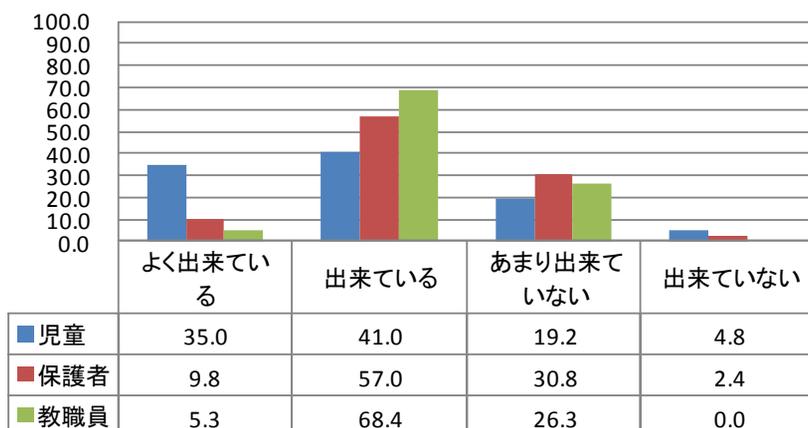
## アンケートの結果より

### ①授業は、よくわかりますか。



「授業はよくわかりますか。」の質問に対しては、90%以上ができていますと答えていますが、「習ったことが身についていますか」の質問に対しては、約10%下がってしまいます。これは、授業ではわかっても家に帰ってからやしばらくすると忘れてしまう事が考えられます。学校では新しい学習内容が次々と出てきて、なかなか授業の中で練習する時間が取れません。家庭学習で練習する時間や生活の中で習ったことを使う場面を作っていくことが重要です。そのためにも保護者の方に、教科書やノートを見てほしいと思います。

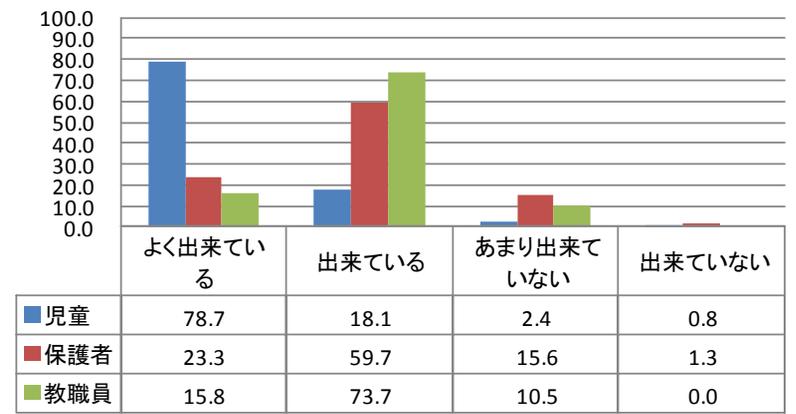
### ③ていねいな言葉遣いをしていますか。



言葉遣いに対しては、ずい分と意識が向上してきたようです。昨年と比べると、児童が5.5%、保護者は16.8%、教職員も4.5%「出来ている」が増えてきました。確かに授業中の話し方や職員室に入る時の言葉遣いは意識できるようになってきました。

子どもたちは、親しみをこめて話しかけたりしゃべったりしているのですが、「親しき仲にも礼儀あり」で、いつでもどこでも慣れ合った話し方ではいけません。このことについては、私たち大人がしっかりと教えていかなければならないでしょう。

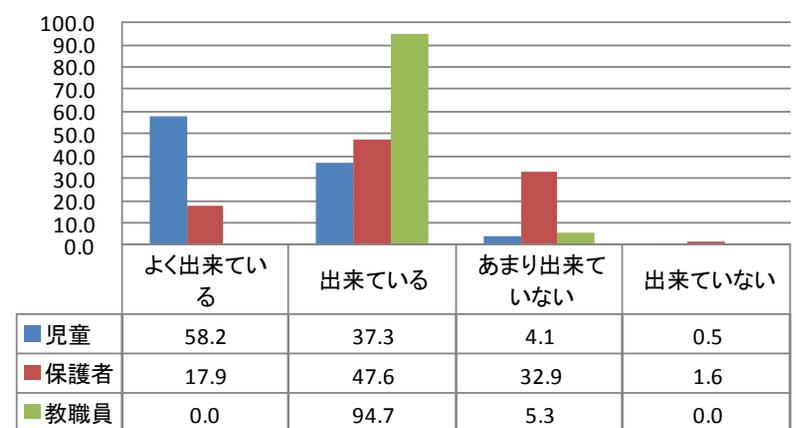
### ⑤学校や学級のルールを守っていますか。



学級や学校のルールを守ることの意識も向上して来ました。昨年度より児童が約6%、保護者は約1%、教職員にいたっては約20%も値が向上していました。毎日の指導の積み重ねが子どもたちの意識を変えてきているのです。「小さなことを見逃さず」指導することが重要なのだと思います。

そのためか「学校は楽しいですか。」の質問にも児童も保護者も約3%、教職員も16%向上で、「学校が楽しい」と感じていると答えていました。これからもルールのある世界を構築し、すべての子どもが自分に力を精一杯出し、自分の居場所がある学校にしていくよう努力していきます。

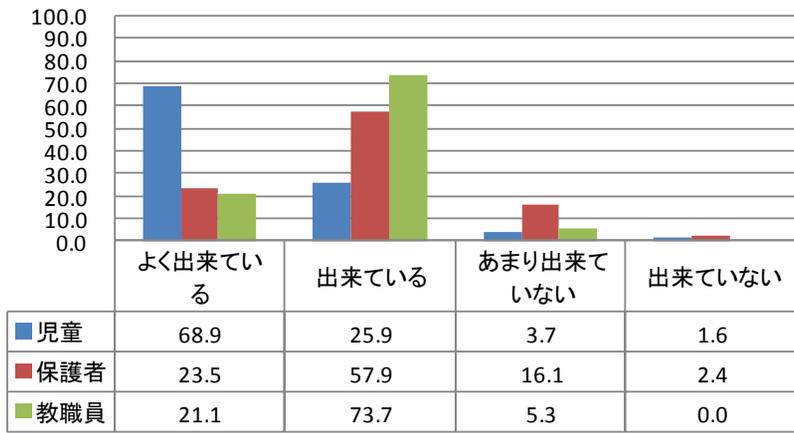
### ⑥進んで元気よく、あいさつしていますか。



「あいさつをしている」という児童は昨年の84%から今年の前回は95.5%と一気に伸びていました。教職員の値も約30%伸びています。しかし、保護者の値が約1%しか伸びてはいません。これは、「学校ではあいさつをしているが、その他の場所では出来ていない」と考えられます。

「あいさつ」と「返事」は人と人をつなぐ第一歩、自分の世界を広げるきっかけとなります。子どもは大人の背中を見て育ちます。どうぞ、お家でも保護者の方から元気よく「おはよう！」と声をかけてください。家の中の大人から家の外の大人、ご近所さんへあいさつの輪が広がっていくことができれば、とても素敵なことですね。「広げよう！あいさつの輪！」

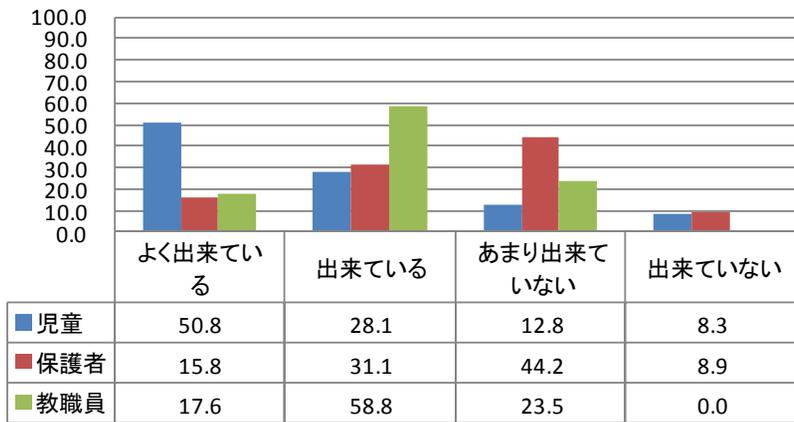
⑨困った時は、先生方に気軽に相談していますか。



昨年と比べると、児童が教職員に相談していると答えている児童が約 13%向上しています。保護者の方の値も 10%向上しています。教職員も相談を受けていると実感しています。

砂川小学校では担任はもちろんのこと、こどもや保護者の方の悩みや困りは、学校のこととして受け止めています。解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。また、月に 2 回ですが悩みや困りの専門家「スクールカウンセラー」も来ていただいています。何かで困ったり悩みのある時は、学校の方へご相談ください。

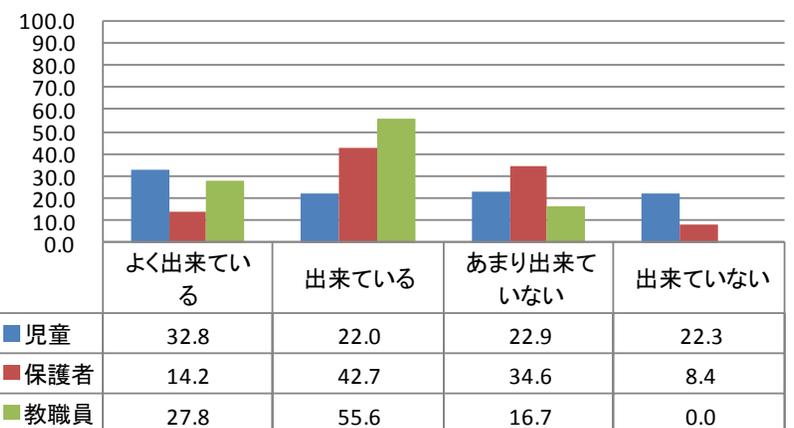
②自分から進んで、読書をしていますか。



今年のアンケートは大設問を「学校でのこと」「お家でのこと」とし、「お家でのこと」の中に「自分から読書をしていますか」の質問を入れました。

昨年は、単に「自分から読書をしていますか」との質問でした。だから、学校での読書も含まれていました。その質問に対して児童は約 63%、保護者は約 37%が読書しているという回答でした。今年は家庭での読書として質問したのですが、それぞれ約 10%伸びました。これまでの地道な努力が少しずつ実を結んでいるようです。これからも本を読む楽しさ・大切さを子どもに伝えていく努力を続けていきたいと思っています。

④PTAや地域の行事に参加していますか。



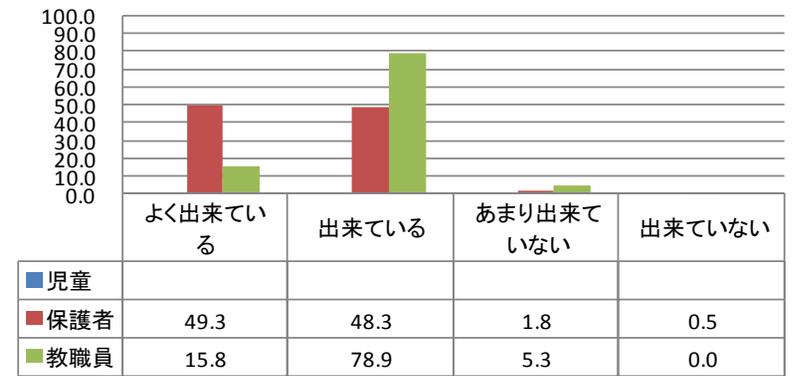
地域の各種団体の方やPTAの方々には、いつも子どもが楽しめそうな行事を考えていただいています。ありがとうございます。

今年度前期の参加者は、約 55%という一見低そうな数字になっ

ていますが、昨年度の前期が約 38%でしたから伸びはすごいものだと思います。

子どもはすごく楽しみにしていて、当日は朝早くから参加しています。人数を見ても随分増えています。

⑩学校は各おたよりやHP等で、学校の様子を伝えていきますか。



いつもHPをたくさんの方々に見ていただいています。その他、学校の様子をお伝えするために、学級だよりや学年だより、学校だよりなどいろいろな方法を考えています。

HPは、リアルタイムに学校や子どもの様子を見ていただけます。学級や学年よりは、学級や学年のお知らせをしています。学校便りは、学校全体・全児童に関わることをお知らせしています。どうぞ、それぞれを合わせてみていただきますようお願いいたします。

学校運営協議会《理事会》でのご意見

○音読は、句読点に気をつけて読ませるように聞くのが大変だが、文章を正しく読ませるためには、とても大切なことである。これからも句読点を意識した音読を進めていってほしい。

○ゲームする時間が増えて、読書する時間が減ったのではないだろうか。昔、待ち時間の過ごし方としては本を読んで待っていたものだが、最近の子どもは、ほとんどゲームを取りだし、夢中でしている。

○砂川小学校独自の取組に「50冊ハーフマラソン」というのがある。50冊読破を達成した児童が多いのに驚いた。

○50冊読破は、低学年・中学年が多い。低・中学年は文学的な読み物が多く、高学年になると科学的読み物に興味が出てくる。理解しながら読むとなると冊数は増やせないかもしれない。

○携帯電話は、全体的に 30%の小学生が持っていると言われていている。井戸端会議的なことが LINE 上で行われている。文字は書き手の感情よりも読み手の感情で読まれてしまう。そのため、行き違いや誤解が生じて、深刻な問題に発展してしまっていることが多い。

○学校で教わったPCの使い方家庭のPCを扱っていたが、学校で使っているPCの機能より家庭のPCの機能の方が新しくなっている。学校で使い方やルール・マナーを教えている時は、もうすでに家庭で新しい機能やアプリを使っている場合が多く、なかなか学習が日常生活に追いつけていないのではないかと。

○今の世の中は便利な物があふれている。子どもは便利なことに慣れてしまい、自分なりの工夫がなくなっている。何かできないことがあると「△△がないからできなかった」「□□がないからできる訳がない」とあきらめてしまっている場面に出合う。もう少し工夫したり物事に挑戦したりする子どもに育ててほしいと思う。